

## 様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和5年 5月 13日

長野県知事 様

提出者

住所 長野県茅野市宮川1110番地

氏名 株式会社諏訪共同生コン

代表取締役 本道 孔崇

電話番号 0266-72-7128

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社諏訪共同生コン
事業場の所在地	長野県茅野市宮川1110番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

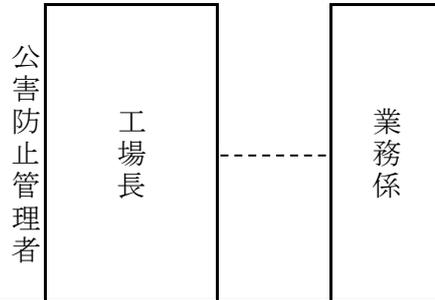
①事業の種類	生コンクリート製造・販売
②事業の規模	230百万円
③従業員数	13人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・コンクリートくず：建設現場より戻された生コンを持ち帰り固化後、中間処理施設へ委託搬入して再生品となる。

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	排出量	1,368 t	0 m3
	(これまでに実施した取組)  工場内の各部と協力し、廃棄物の減量化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	排出量	1,500 t	0 m3
	(今後実施する予定の取組)  生コンクリート納入現場（顧客）との打合せを詳細にする事により、各現場での残コンが減少するよう、努力する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  コンクリートくず：廃棄物保管場所に管理
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  コンクリートくず：廃棄物保管場所に管理

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 m3
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 m3

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 m3
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 m3
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 m3
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 m3
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 m3
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 m3
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	全処理委託量	1,368 t	0 m3
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.0 m3
	再生利用業者への処理委託量	1,368 t	0.0 m3
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0.0 m3
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0.0 m3
	(これまでに実施した取組)		
納入現場（顧客）からの残コンの減量化			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	全処理委託量	1,500 t	0 m3
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 m3
	再生利用業者への 処理委託量	1,500 t	0 m3
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 m3
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 m3
	(今後実施する予定の取組)		
生コンクリート納入現場（顧客）との打合せを詳細にする事により、各現場での残コンが減少するよう、努力する。			
※事務処理欄			

令和 5年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

単位:t

実績:前年度産業廃棄物排出量

計画:当年度産業廃棄物排出量の目標値

産業廃棄物の種類	総排出量		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				処理の委託											
					自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	自ら直接再生利用した量等を含めた事業場における産業廃棄物の合計量		自ら直接再生利用する量と自ら中間処理を行った後に再生利用する量				中間処理前の量から中間処理後の量を引いた量		自ら直接埋立・海洋投入処分する量と自ら中間処理した後に自ら埋立・海洋投入処分する量		自社内で処理を行わず直接委託した量と自ら中間処理した残さ量のうち処理業者に委託して処理する量		優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)		中間処理後、有効利用されている場合の委託量(委託先から別の業者に売却等される場合を含む。)		認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)		認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	
	①		②+⑧		⑤		⑦		③+⑨		⑩		⑪		⑫		⑬		⑭	
実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		
法律	1 燃え殻																			
	2 汚泥	0.00	0.00								0.00	0.00			0.00	0.00				
	3 廃油																			
	4 廃酸																			
	5 廃アルカリ																			
	6 廃プラスチック類																			
政令	1 紙くず																			
	2 木くず																			
	3 繊維くず																			
	4 動植物性残さ																			
	5 ゴムくず																			
	6 金属くず																			
	7 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1,368.00	1,500.00								1,368.00	1,500.00			1,368.00	1,500.00				
	8 鉱さい																			
	9 がれき類																			
	10 家畜ふん尿																			
	11 家畜の死体																			
	12 動物茶固形不要物																			
	13 ばいじん																			
	14 処分するために処理したもの																			
合計	1,368.00	1,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,368.00	1,500.00	0.00	0.00	1,368.00	1,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※ 総排出量=自ら再生利用を行った(行う)量+自ら中間処理により減量した(する)量+自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量+全処理委託量

【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績(現状)を右に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、右欄にそれぞれの内訳を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行った(行う)量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。